

令和6年度 調布市立滝坂小学校 学校評価報告書（学校長 小林 美也子）

学校の教育目標				
◎よく考え　すすんで学習		○強いからだ　やりぬく心		○人に親切　仲よく協力（◎＝今年度の重点）
目指す学校像(ビジョン) 例) 学校像, 教員像, 児童・生徒像				
目指す学校像【「つくる」「つながる」「つたえる」学校】 ◇「つくる」……児童が変化する社会を主体的に生きるために必要な資質・能力を育成する教育活動を創造する。 ◇「つながる」…①児童の学びと成長のために、教職員・児童・保護者・地域がつながる。 ②互いに学び合い、助け合い、高め合いながら教育活動を進められるように、教職員同士がつながる。 ◇「つたえる」…透明性の高い学校を目指し、教育活動の取組を積極的に保護者、地域に発信する。				

調布市立学校における共通した領域 <短期的な経営目標>						
	1 豊かな心(徳)		2 確かな学力(知)		3 健やかな体(体)	
自己評価	(1) 具体的な取組	評価	(1) 具体的な取組	評価	(1) 具体的な取組	評価
	①道徳の授業を年間 25 の価値項目で展開し、自己肯定感・自己有用感を育み、児童の自己実現に向けた教育を展開する。	A	①授業規律を校内で統一し、定着を図る。秩序ある落ち着いた学習環境の中で児童の「よく考え」「真剣に学ぶ態度」を育成する。	A	①望ましい生活習慣を確立させ、明るく健康ではつらつとした毎日を過ごせるようにする。	B
	②校内委員会及び生活指導夕会で児童に関する情報共有を十分に行い全教職員が組織的に対応することで、いじめ問題や不登校の未然防止を図る。	B	②週案を作成し、授業時数の確保に努める。計画的・意図的に指導を行うとともに、日々の振り返りを必ず行い、授業力を向上させる。	B	②体育科の授業における運動量確保、外遊びの奨励、運動の日常化で健康な心身を育む。	A
					③学校教育活動全体を通して食育を推進し、食に関する指導及び学校給食の充実を図る。	B
	(2) 成果（数値目標に対して）	評価	(2) 成果（数値目標に対して）	評価	(2) 成果（数値目標に対して）	評価
	① 「登校するのが楽しく、充実した学校生活を送っている」肯定的評価 95%	A	①保護者アンケート「子供によく分かる授業の工夫を行っている」97%	A	①保護者アンケート「体力向上・健康を保つための指導」94%	A
学校関係者評価	②保護者アンケート「相手を大切にした言葉遣いをしている」肯定的評価87%	B	② 校内研究の児童アンケート「教科担任制導入で学習が楽しい・意欲が高まった」90%	A	②体力テストの結果は昨年度よりも上昇した。	B
					③栄養士、担当教員と連携をとって食育の充実を図った。	B
学校の特色を生かした領域 <短期的な経営目標>						
	4 保護者・地域との連携		5 言語環境の充実・読書活動の推進		6 特別支援教育の推進	
自己評価	(1) 具体的な取組	評価	(1) 具体的な取組	評価	(1) 具体的な取組	評価
	①ホームページにおいて学校からの発信を適宜行い、保護者・地域に日々の教育活動を周知する。	A	① 児童が日常的に様々な言葉に触れ、言葉に興味をもつ環境づくりを行う。	B	①様々な行事、日常的な活動の中で特別支援学級と通常学級との交流を行い、多様性尊重への理解を図る。	B
	②コミュニティスクールの円滑な運営により、地域の外部人材を有効活用する。	B	② 読書に関する計画を年度当初に立て、読書活動の推進を図る。	A	②ひだまり教室（校内通級教室）での指導を在籍学級での指導及び支援に生かしていく。	A
	(2) 成果（数値目標に対して）	評価	(2) 成果（数値目標に対して）	評価	(2) 成果（数値目標に対して）	評価
	① HP を毎日更新することができた。	A	① 言葉に関する校内掲示を計画的に実施できた。	B	① 「心の教育」肯定的評価96%	A
	② 「地域と協力した教育活動」98%	A	②「図書館の活性化・読書活動の推進」96%	A	②通級の指導が支援につながった。	A
学校関係者評価	・ホームページによって学校の様子が分かって有難い。これからも続けてほしい。 ・地域の方が学校に大変協力的で、コミュニティスクールも充実した活動ができた。次年度も期待している。		・「言葉のコーナー」をはじめ国語教育が充実している。話し合い活動も活発で、児童は言葉に親しんでいる。 ・図書に関する取組が多岐にわたっている上に、「ダンボの会」の協力もあり、読書活動が充実している。		・特別支援学級が通常学級と共に行事を行うことによって大きな効果が見られた。今後はより一層交流が深まるように活動内容を工夫してほしい。 ・通級の指導法は大変参考になる。児童の困り感を解消すべく効果的な指導法を教えてください。	

人材育成・組織運営	
自己評価	ア) OJT の充実…………… 担当主任教諭をリーダーとし、若手教員を対象とした OJT 研修を毎月 1 回定期的に実施。着実に成果が上がった。 イ) 校務分掌の計画的推進…… 「運営委員会」を中心とした組織運営が効を奏し、職員会議・職員夕会の回数を減らし、合理化を図ることができた。 ウ) 服務規律遵守の徹底…………… 計画的に研修を実施し、服務事故 0 を達成した。服務規律を遵守することの大切さを周知できた。 エ) ライフ・ワークバランスの推進… SSS や副校長補佐、校務支援システム、ボランティア等を有効活用し、在校時間の縮小を図ることができた。
学校関係者評価	・OJT 研修が、授業力の向上につながっている。様々な意見から OJT の内容を決めているので、内容が多岐にわたっていて効果的であった。 ・研究熱心でまじめな教職員が多く、服務規律がしっかりと守られている。引き続き服務事故 0 を目指してほしい。 ・コミュニティスクールの実施は大変意味があった。地域力を活用して、より一層の教育活動の充実と共に在校時間縮小を図ることが望ましい。

中期的な経営目標の達成状況	
1	・道徳は 25 の価値項目で十分に指導できた。人権教育を基盤として全教育活動を推進できるように内容を工夫し、計画的に指導していく。
2	・教科担任制の校内研究を行うことで、授業力向上を図ることができた。ICT 機器を活用しながら、一層の基礎的・基本的な知識や技能の定着を図っていく。
3	・望ましい生活習慣の定着は定着しているが、今後ともご家庭の協力を得ながら指導していく。運動量は上昇しているが、引き続き更なる運動量確保を目指す。
4	・地域の人材についてはできる範囲で活用することができた。CS の取組は大変充実していた。今後とも一層の人材活用を図り教育活動を充実させていく。
5	・言語環境の充実・読書活動の推進は地域力の活用もあり、順調に進んでいる。今後とも教育活動全体を通して言語環境の充実・読書活動の推進を図る。
人・組	・OJT 研修を充実させ、授業力の一層の向上を図りたい。校務分掌の改革は成功し、働き方改革の推進につながっている。
次年度の重点課題	
○一人 1 台モバイル端末や ICT 機器の効果的な活用と授業力向上・情報モラル教育の推進 ○教科担任制の円滑な運営と授業力向上 ○運動量の確保・運動の日常化 ○OJT 研修の一層の充実 ○コミュニティスクールの適切な運営と発展	

